平成 19 年度

湯沢砂防女性モニターレポート　意見交換会

国土交通省湯沢砂防事務所　平成２０年２月発行

２月１３日水曜日、降雪で足元の悪い中、５名のモニターの方々に参加いただき、湯沢砂防事務所内にて意見交換会を行いました。今年度の活動を振り返りながら、地域の人に砂防を知っていただくための工夫や、魚沼自然塾のアイディアなど、活発なご意見をいただきました。

＊＊プログラム＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

・所長挨拶
・モニターの自己紹介
・今年度の活動から
　３回の現地見学で感じた「砂防」・そこからの提案
　女性モニターアンケートの疑問にお答え　　ほか
・次年度「魚沼自然塾」（１０周年）への提案
・参加者のまとめ

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

意見交換会のようす。少人数になりましたが、存分に思いを語っていただくことができました。

今年度の活動一覧表

	内容・テーマ	場　所	参加人数
第１回 (7/28)	第１回魚沼自然塾への参加 **参加しながらｲﾍﾞﾝﾄ運営や参加者の様子を見る**	水無川流域 ・水無川流路工 ・高石砂防えん堤 ・北里学院で地域づくりトークほか	４名 （当初２名、 後日追加２名）
第２回 (8/27)	モニター活動での現地見学会 **上流で気付く砂防の必要性**	登川流域 ・檜倉沢砂防えん堤工事現場 ・登川流路工	９名
第３回 (9/8)	第２回魚沼自然塾への参加 **参加しながらｲﾍﾞﾝﾄ運営や参加者の様子を見る**	中津川流域 ・中津川流路工・上結東砂防えん堤 ・かたくりの宿で地域づくりトークほか	５名
第４回 (10/10)	ﾓﾆﾀｰ活動での見学と意見交換会 **砂防えん堤の工夫** **まちかどからの情報発信**	三国川流域 ・五十沢川砂防えん堤 ・野中沢砂防えん堤 ・FM ゆきぐにで意見交換	７名
第５回 (10/27)	第３回魚沼自然塾への参加 **参加しながらｲﾍﾞﾝﾄ運営や参加者の様子を見る**	湯沢町 ・湯沢高原・温泉街散策 ・湯沢町公民館で地域づくりトークほか	２名
第６回 (11/20)	モニター活動での現地見学会 **大地震からの復興に果たす砂防の役割**	芋川流域 ・竜光・東竹沢などの砂防施設 ・闘牛場・中山隧道など	６名
第７回 (1/26)	第４回魚沼自然塾への参加 **参加しながらｲﾍﾞﾝﾄ運営や参加者の様子を見る**	塩沢町 ・プレイベント ・講演・地域のお宝ビンゴほか	５名
第８回 (2/13)	モニター活動での意見交換会 **一年のまとめ** **今後の魚沼自然塾をもっと良くするには？**	湯沢砂防事務所	５名

出席いただいた女性モニターのみなさま

モニター5 年目のＨさん
第４回自然塾に参加して楽しかった。あのお天気で 70 人近くが参加したのはやっぱりすごいな、と思いました。

モニター3 年目のＹさん
私がどこ行って何してきたか話すと、関心のなかった人も聞いてくれるから、みんなに話すのが良いのかなと思って参加しています。

モニター2 年目のＭさん
自然塾に初めて主人を誘ったら、「今度はいつあるんだ？」って。１年間砂防のことを勉強して、「これって自分の地域にも活かせないのかな」と思っています。

今年初めてのＲさん
今まで何気なく見ていたものが、現地で説明を聞くことで、すごくためになりました。子供たちにも知ってほしい。

モニター3 年目のＪさん
都会から兄弟が来たから山古志へ連れて行って、見学した所を説明した。役場の中の展示室に砂防工事のパネルも貼ってあるとよかったと思いました。

事務所からは長井所長、小竹課長、小野係長、大崎技官の 4 人が出席。

意見交換会

＜３回の現地見学で感じた「砂防」・そこからの提案＞

・登川上流では、すごい奥まで土砂が続いていると知って“この土砂が流れたらたいへんだぞ”“しっかり工事しないと大変なことになるぞ”と、どうしたら地元の人に伝わるんだろうと思った。

・登川の公園に「上流はこうなんですよ」って、写真入りの看板で位置図といっしょに説明したらどうか。

・年輩の方の災害体験談や民話を自然塾の参加者だけでなく、住んでいる人たちにラジオで放送して聴いてもらったら良いと思う。

・芋川以外の地域でも「かわら版」のようなものを作って、新聞のチラシとして入れたらどうか。

・芋川には見学に来る人が多いので、１箇所にまとめて砂防工事を説明する場所がほしい。

・事務所の前にパネルや看板を出して、「こんな仕事をしているところです。芋川でもがんばっています！」とアピールしたらいい。

芋川かわら版

＜次年度「魚沼自然塾」への提案＞

- 「魚沼自然塾」が湯沢砂防事務所の一番の広告塔だと思う。有効に活用したら良いと思う。
- 子供たちが楽しめる企画がほしい。また、親が子供に格好いいところを見せられるような、きっかけ作りになると良い。
- 目玉になるようなものがあるとクチコミで広がりやすい。
- 3D シアターや降雨体験車が砂防の役割をわかってもらうのに一番良い。魚のつかみ取りは人気なのでお祭り方式も良い。
- 自然を楽しむ地元サークルなどへ募集をかけるといい。
- 普段乗らないローカル線で、ちょっとした旅気分を味わいながら地域貢献ができるのも良い。
- 魚沼自然塾の募集チラシは１回だけでなく、毎回出してほしい。年間の予定は先に知らせると予定が立てやすい。
- 女性モニターは魚沼自然塾で「気軽に話しかけられるガイド」になれると思う。

湯沢砂防から

女性モニターのみなさんが他の人に説明できるくらいになってくれていることは非常にうれしいことです。活躍を期待しています。

＜女性モニターアンケートの疑問にお答え＞

- 登川の上流で工事をやっているが、あんなに山奥までどうやって重機を運んだの？

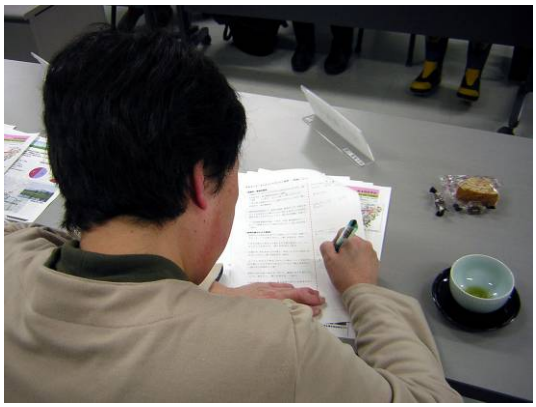
  →工事を始めるにあたり、最初に重機を運ぶための道路を作っています。見学の時に通った道を通って、重機を運びます。

- 上流から出てきた大量の石を、自然と一体化したものに活用できたらいいのに

  →自然に出てきた石はコンクリート構造物の表面に貼り付けたりして、景観対策などに使っています。また、工事で出てきた大量の石をコンクリートといっしょに砂防えん堤の中に詰めるような工法も行っています。

- 湯沢砂防で現場を監視しているカメラの映像は、他でも見ることが出来るの？

  →湯沢砂防事務所のほかに、破間川出張所、中津川出張所でも見ることが出来ます。また市町村の一部でも防災情報の提供のため見られるようにしています。大源太川岩原橋、中津川清水川原、芋川寺野地区、芋川東竹沢地区の 4 箇所についてはインターネットからも映像を見られるようになっています。



- 砂防の取り組み方は昔と今は変わってきているの？

  →明治の初めから内務省が「砂防」を始めています。もとはと言えば、幕末に幕府による山の管理が緩んで伐採が進み、禿山が日本全国に増えて災害が増加。その山を緑にしようというのが始まりで、当時は山腹工が盛んに行われていました。

- オープンタイプの砂防えん堤は増えるの？

  →その場所が技術的に可能ならば、オープンタイプにしていく予定です。

女性モニターの提案その後 ～今までにこんなアイディアを採用しました～

①ペイントバスに説明パネルの設置

毎年、湯沢砂防事務所主催で行われるバスペイント。町中を走るバスを広告にすればいいのではないか、というアイディアから「湯沢砂防事務所」の文字を車外に加えています。また、バスの内部に砂防の役割などのパネルや写真を掲示することも行いました。

②魚沼自然塾におけるキッズコーナーの設置

「親子で自然塾に参加された方が室内のお話に集中できるように、その間だけでも子供たちを預かってくれるといいのに･･･」という女性ならではの視点から出てきたアイディアです。スタッフが見守る中、子供たちはお絵描きや工作を楽しんでいます。

③土砂災害防止月間の「砂防パネル展」

「人の多く集まるところや、病院など待ち時間に見てもらえる場所を選ぶのが良い」というご意見から、会場を昨年度と違う場所で展示したり、展示内容を新しくしたりしています。

その他、取り組み中やこれからの宿題

これまでの５年間の女性モニターのみなさまから、「砂防工事の経過や工事後の変化を見せて！」、「心に訴えるドキュメンタリー映像で発信を！」など、たくさんのご意見、アイディアをいただいています。

可能なことから採用させていただきたいと考えております。

湯沢砂防より

貴重なご意見をいただきありがとうございました。今回の提案の中で一番うれしかったのは、モニターの皆さんから「魚沼自然塾でガイドのお手伝いをしたい」と言っていただけたことです。他の人に伝えられるくらい湯沢砂防の仕事を理解してくれていると思っています。

湯沢砂防事務所に関わっていきたいと言うご意見もいただけましたので、これからもよろしくお願いします。

お問い合わせ先：国土交通省 湯沢砂防事務所 調査課　TEL：025-784-2073　FAX：025-784-2441
〒949-6102 南魚沼郡湯沢町大字神立 23　ホームページ：http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/